

## ● 当該データの作成方法

- 国内移動に関して、観光庁「訪日外国人消費動向調査」、航空局「国際航空旅客動態調査」を、国籍別出国者数に関して、法務省「出入国管理統計月報」を組み合わせ作成した。

## ● 公表物

- 都道府県間流動表（国籍別 / 交通機関別）
- 公表用データベース（国籍別・性別※・年代別※・目的別・出国空港別・発着都道府県別データ / 交通機関別・目的別・出国空港別・発着都道府県別データ）
- 貸出用データベース → 周遊ルート、旅行手配方法（団体/個人）、滞在日数、宿泊数等が分析可能（利用希望者に貸与）

## ● 分析できる内容

- 都道府県間流動量、都道府県別入込客数
- 移動の際の利用交通機関
- 周遊ルート、泊数
- 訪日外国人属性（国籍、性別※、年代※、目的、来訪回数、旅行手配方法（団体/個人）、出国空港）

※性別、年代の情報は2017年データのみ。また、国籍別の公表用データベースのみに付加しているため、交通機関別の分析や貸出用データベースのみの情報（周遊ルート、宿泊数等）と組み合わせた分析は不可。

## ● 利用上の注意

- 訪日外国人消費動向調査、国際航空旅客動態調査はいずれも、国内訪問地の情報はアンケート回答者の主観に委ねられているため、特に都市内あるいは都道府県内等の短距離の移動が十分に把握できていない可能性がある点にご注意願います。
- また、例えば1回の旅行で、ある都道府県を2回訪問した場合は、都道府県間流動表ではその都道府県を2回訪問したこととして集計しています。そのため、都道府県別の入込客数を都道府県間流動表から集計する際には、同じ人を複数回カウントしている点にご注意願います。



# 概要：年代別・性別構成

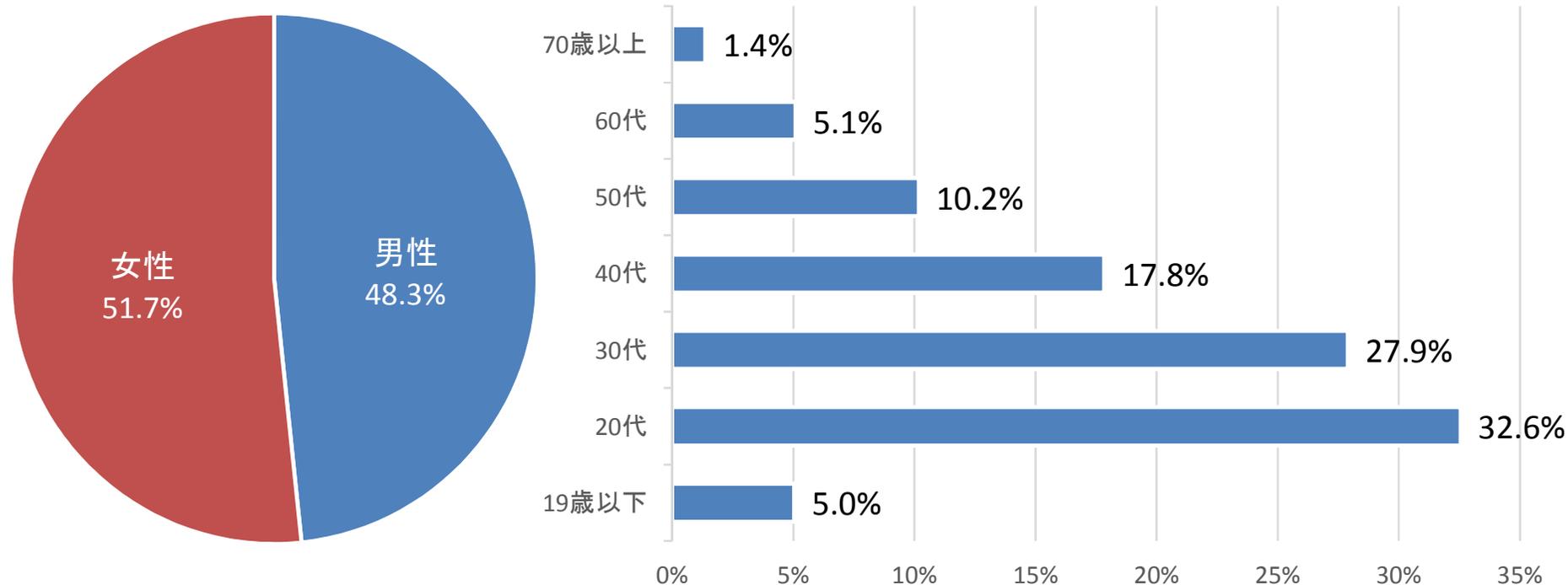
都道府県間流動表

公表用データベース

貸出用データベース

- 訪日外国人流動量について、性別構成を見ると、およそ男女半々である。
- 年代別構成では、20代が32.6%と最も多く、次いで30代が27.9%、40代が17.8%と続き、20～30代が約6割を占めている。

図 訪日外国人流動量の性別・年代別構成(2017年)



(注)最終訪問地から出国港までの流動及び年齢・性別不詳除く。

(出典)FF-Data(2017年)より作成

# 分析例：男女別・都道府県間年間流動量ランキング

都道府県間流動表
公表用データベース
貸出用データベース

- 都道府県間流動量では、男女ともに千葉県－東京都、京都府－大阪府のような大都市圏内の移動や東京都－京都府、大阪府のような大都市圏間の移動が上位。
- 福岡県－大分県や大阪府、京都府－奈良県などは男性よりも女性のほうが上位となっている。  
(福岡県－大分県：男性4位、女性3位、大阪府－奈良県間：男性8位、女性4位、京都府－奈良県間：男性11位、女性9位)

表 男女別・都道府県間の年間流動量ランキング(2017年)

男性

順位	都道府県間		年間流動量 (万人/年)	全体比 (%)
1	千葉県	東京都	593.8	22.1
2	京都府	大阪府	302.1	11.3
3	東京都	神奈川県	111.0	4.1
4	福岡県	大分県	80.0	3.0
5	大阪府	兵庫県	79.4	3.0
6	東京都	京都府	77.9	2.9
7	東京都	大阪府	71.6	2.7
8	大阪府	奈良県	71.0	2.6
9	千葉県	神奈川県	55.7	2.1
10	東京都	静岡県	50.4	1.9
11	京都府	奈良県	44.5	1.7
12	東京都	山梨県	37.7	1.4
13	京都府	兵庫県	29.7	1.1
14	東京都	愛知県	26.8	1.0
15	愛知県	大阪府	26.7	1.0
16	福岡県	熊本県	26.1	1.0
17	東京都	長野県	23.2	0.9
18	北海道	東京都	21.1	0.8
19	岐阜県	愛知県	20.9	0.8
20	福岡県	長崎県	20.4	0.8

女性

順位	都道府県間		年間流動量 (万人/年)	全体比 (%)
1	千葉県	東京都	543.4	19.9
2	京都府	大阪府	397.7	14.6
3	福岡県	大分県	112.0	4.1
4	大阪府	奈良県	94.9	3.5
5	東京都	神奈川県	93.0	3.4
6	大阪府	兵庫県	79.3	2.9
7	東京都	京都府	73.3	2.7
8	東京都	大阪府	68.2	2.5
9	京都府	奈良県	61.4	2.2
10	東京都	静岡県	50.1	1.8
11	千葉県	神奈川県	44.3	1.6
12	東京都	山梨県	42.6	1.6
13	京都府	兵庫県	31.9	1.2
14	愛知県	大阪府	31.7	1.2
15	福岡県	熊本県	25.9	1.0
16	福岡県	長崎県	24.1	0.9
17	東京都	愛知県	23.3	0.9
18	愛知県	京都府	22.2	0.8
19	東京都	長野県	22.2	0.8
20	岐阜県	愛知県	20.7	0.8

(注1) 男女それぞれ上位20位までを掲載。

(注2) 同一県内々の流動及び発着地が不明の県を除く。

(注3) 首都圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)、近畿圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県)、中京圏(愛知県、岐阜県、三重県)

(出典) FF-Data(2017年)より作成

首都圏	九州
近畿圏	北海道
中京圏	沖縄

# 分析例：特定の県への移動の分析（奈良県の例①）

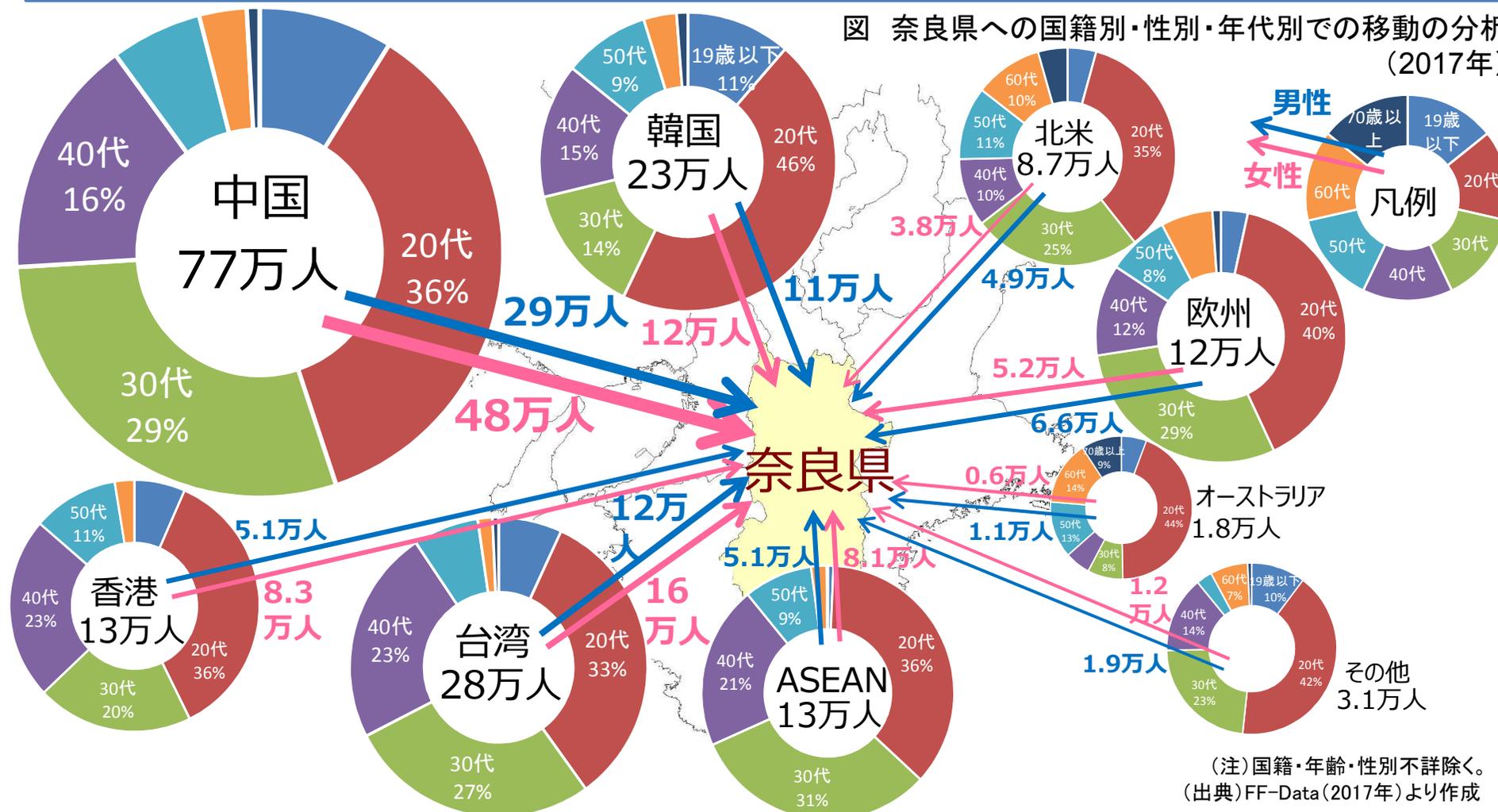
都道府県間流動表

公表用データベース

貸出用データベース

- 中国からの訪問が最も多く、次いで台湾、韓国の順となっている。
- アジア国籍はいずれも女性のほうが多く、30代以下の年代が6～7割を占める。特に、韓国国籍では20代が4割以上となっている。
- 一方、北米、欧州、オーストラリア国籍は男性のほうが多く、50代以上の割合も比較的高い。

図 奈良県への国籍別・性別・年代別での移動の分析（2017年）



# 分析例：特定の県への移動の分析（奈良県の例②）

都道府県間流動表

公表用データベース

貸出用データベース

- 京都府、大阪府からの訪問が多い。
- 周辺府県からは、いずれも女性の訪問が男性を上回っており、年代では30代以下が5～6割を占める。
- 関西空港からは、幅広い年代の訪問者がある。

